

「愛知県その道の達人」派遣事業 実施報告書

達 人 名	高野 智 先生（ 骨の達人 ）	所属	日本モンキーセンター
実 施 校	瀬戸市立東山小学校		
実 施 日	平成21年11月4日（水曜日）		
実施学年・学級	6年1組（31人）、6年2組（30人）、6年3組（27人）		
教 科 等 名	理 科	単元・題材名	からだのしくみとはたらき
授 業 の 目 標	・骨の仕組みについて知る。 ・サルとヒトの骨の違いをみつけることにより、進化について考える。		
授業の実際	1 達人の紹介を聞く。(教師) 2 ヒトとチンパンジーの進化について考える。(達人) ・地球の誕生から人の誕生までの過程を聞く。 ・人とサルの化石の話聞く。 3 骨の仕組みについての話を聞く。(達人) ・骨と骨の繋ぎ方の仕組みの話聞く。 4 骨パズルをする。(達人・教師) ・手や腕・脚の動きにより骨がどう動いているのか。 5 ヒトとチンパンジーの骨の違いについて発表する。(教師・達人) ・ヒトとチンパンジーの違いについて気づいたことを5つ発表する。 6 達人に質問する。(教師・達人) ・なぜサルの研究をしようと思ったのか。 ・脳の大きいネアンデルタール人がなぜ滅びたのか。 7 まとめをする。(教師)		
児童生徒の感想	・肩・腕・指などの動く仕組みがよく分かった。 ・骨から生き方やけがの様子など色々なことが分かることを知ってびっくりした。 ・今日見た模型と同じようなものが自分の体にあると思うと不思議になった。 ・骨が200個もあることを聞いて驚いた。 ・骨の大切なことが分かった。また、授業を受けたい。		
教師の感想	「骨の仕組み」について児童の知らないことが多く、初めて聞いてなるほどよくできていると思うことが多かったようで、とても興味深そうに授業を受けていた。自分の骨や体を大事にしようという意識が高まってとても良かった。		